※令和４年度以降入学生用

学校番号	C2101

令和５年度　家庭科

科目	家庭総合	単位数	４	必要Ｓ出席数	８
使用教科書	Creative Living「家庭総合」で生活をつくろう（大修館書店）				
副教材等	なし				

	年間	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	１２通	4	4	4
スクーリング	１８回	7	6	5
テスト	２回	○	×	○
課題・実習等	―	―	―	―

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○家庭生活に関心をもち、積極的にとりくみましょう
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身につけます。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。
・ＮＨＫ高校講座を視聴することで、反復学習だけでなく、より広い視点で学ぶことができます。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し想像する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付ける。

- 学習指導要領(第１章第７款の４)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1範囲	人とかかわる	・人生のマネジメント ・家族生活のマネジメント ・子どもの生活のマネジメント ・高齢期の生活のマネジメント	a:家族や家庭生活及び子どもの発達や高齢者の生活と福祉に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身につけている。 b: 自分の家庭や住んでいる地域社会の中から課題を見つけ、その解決策を考え、エビデンスに基づき、論理的に解決する方法や表現することを目指している。 c: 自分の身の回りの人々に関心を向け、主体的に人生設計や生活のマネジメントに取り組み、自らを成長させるよう取り組み、実践しようとしている。	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査	・レポート 出席カードの設問 ・定期考査	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査
2範囲	ものとかかわる	・食生活のマネジメント ・衣生活のマネジメント ・暮らしのマネジメント	a:食生活及び衣生活、住生活に関する基礎的・基本的な知識及び技術を身につけている。 b: 自らの生活を通して、衣食住に関心を持ち、身体的に成長し、かつ大人として自立するためのマネジメントについて考え、知識や技能を活用しながら学習している。 c: グローバルな観点から、衣食住に関わる様々なものに関心を持ち、課題を見つけ出し、問題を解決するために実践しようとしている。	・レポート ・出席カードの設問	・レポート ・出席カードの設問	・レポート ・出席カードの設問
3範囲	社会と環境	・経済のマネジメント ・共生社会をつくる ・持続可能な社会をつくる	a:最近のニュースをもとに、家計や消費者教育、持続可能の社会などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を身つけている。 b: 自分が生活している地域社会における経済の問題やSDGｓなどの新しい課題を見つけ、その解決策を考察し、論理的に解決策を考えようとしている。 c: 経済だけでなく環境や人権などをグローバルな視点で探求し、今、起こっている課題の解決に取り組みむ姿勢を養い、自らの生活へ実践できるようにしている。	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査	・レポート ・出席カードの設問 ・定期考査

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度